

ココネット、ビットロック利用し再配達解消

Edited By LogisticsToday On 2019/07/10

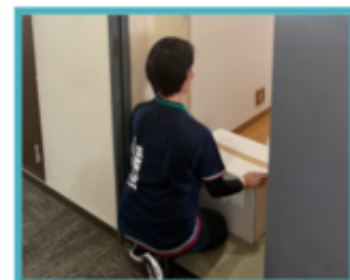
スタートアップ企業のビットキー（東京都中央区）と、セイノーホールディングス傘下のココネット（同）はこのほど、不在時の商品配達で提携した。

この提携により、ビットキーが開発したスマートロック「ビットロックライト」や集合玄関ドアのオートロック解錠が可能な「ビットロックゲート」が設置されている物件に住むココネットのサービス利用者は、配達場所として自宅ドアの前など場所を指定できるようになる。

ココネットはビットロックシリーズ製品から発行されるワンタイムチケットを利用し、配達を希望する日時に不在の場合は届けることが難しかったオートロック内の指定場所へ配達する。

導入先に限定されるものの、ココネットは不在時の再配達問題を解決できる。ビットキーは2019年中にビットロックライト20万台の販売を目指す。

<ビットキー×ココネット 不在時商品配達イメージ>



Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/346361>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.